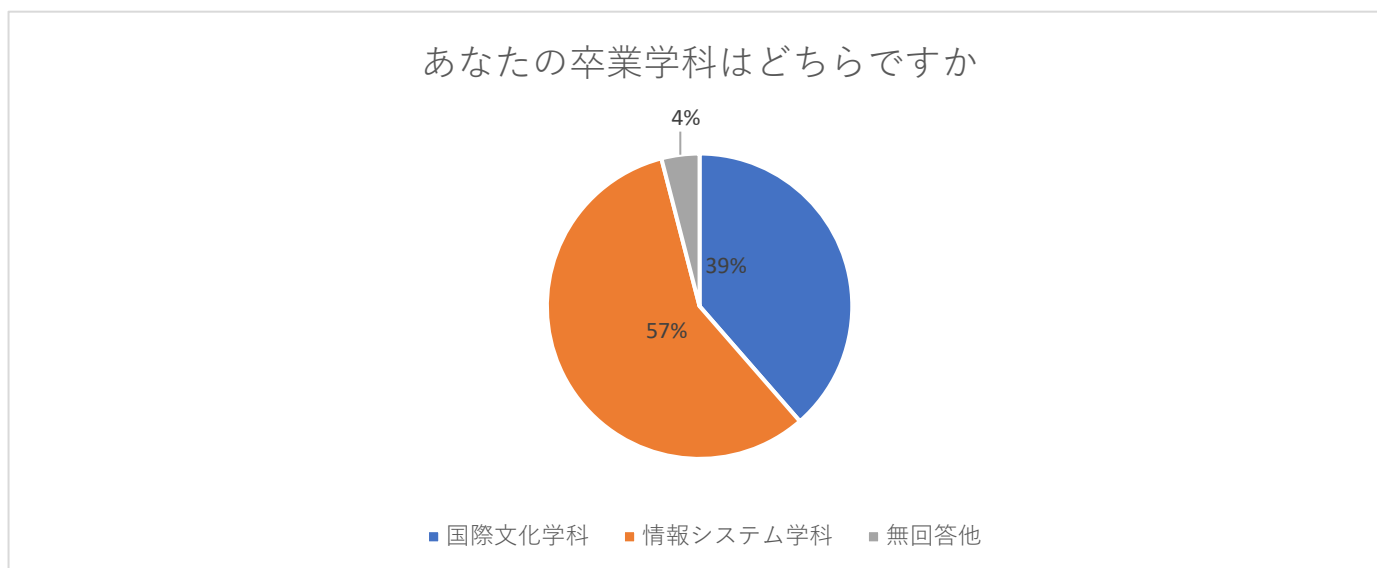


## 令和2年度 卒業時アンケート

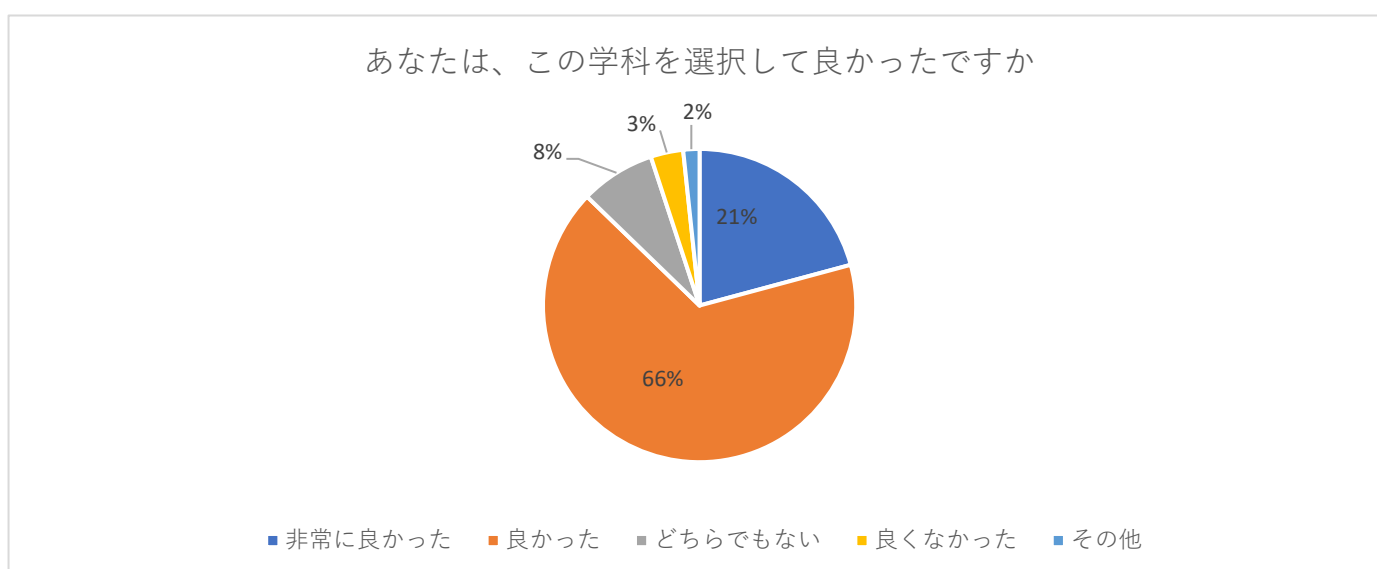
実施期間	令和2年11月下旬～令和3年1月中旬		
対象者	305名	内訳	国際学部 国際文化学科 4年次生 (115名) 情報文化学部 情報システム学科 4年次生 (190名)
回収数	298名		
回収率	97% (小数点以下切捨)		
補正後回収率	95% (小数点以下切捨) ※卒業見込者から卒業不可者を除く (7名)		

### アンケート結果 (抜粋)

あなたの卒業学科はどちらですか



あなたは、この学科を選択して良かったですか



87%の学生から、所属した学科(学部)は非常に良かった、または良かったと回答があった。なお、同項目における昨年度の実施結果は88%であり、引き続き高い割合で推移している。

新潟国際情報大学で、よく学べたものはなんですか？

1	情報システム
2	国際化の理解
3	情報化の理解
4	英語
5	インターネット

6	経営と組織
7	コンピュータと通信
8	海外留学・海外研修
9	情報処理演習
10	異文化理解

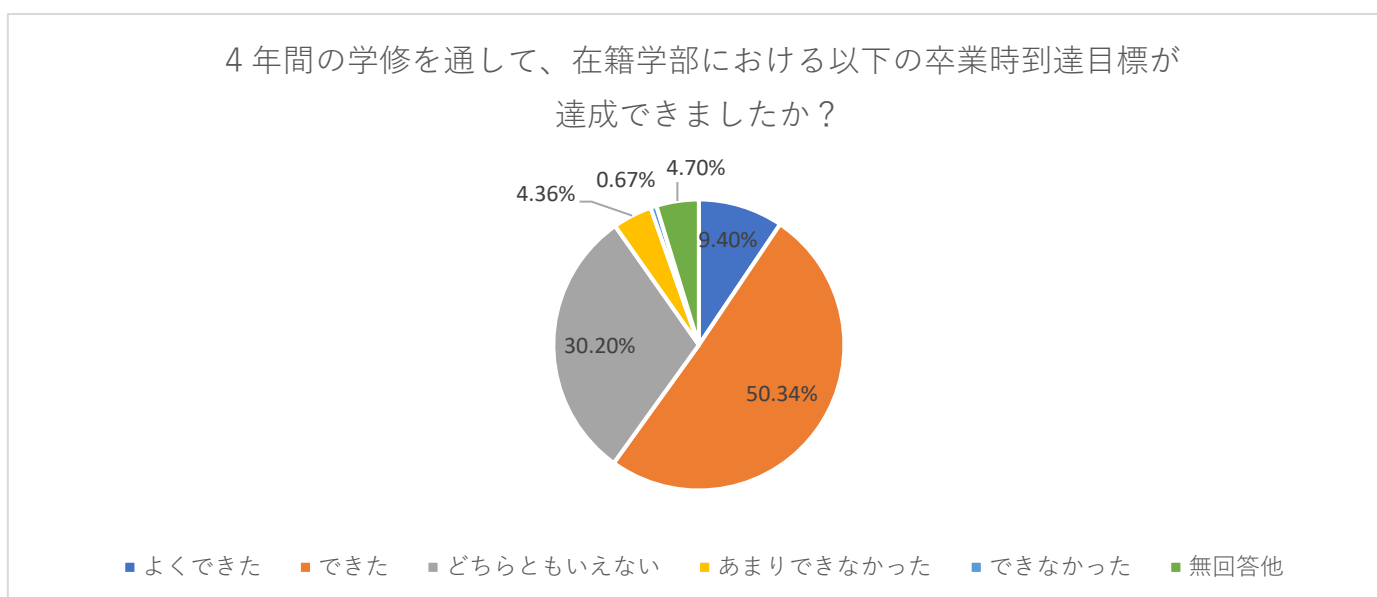
在学時に取得した資格（検定）はありますか？

1	MOS(スペシャリスト)
2	実用英語技能検定
3	TOEIC
4	JABEE
5	秘書検定

在学時に取得した資格（検定）について、本調査結果では学生から回答があった結果をそのまま反映していることから、実際の資格（検定）取得数とは、ずれがあることを補足する。（実数は本学ホームページの「NUIS早分かり」にて公開。）

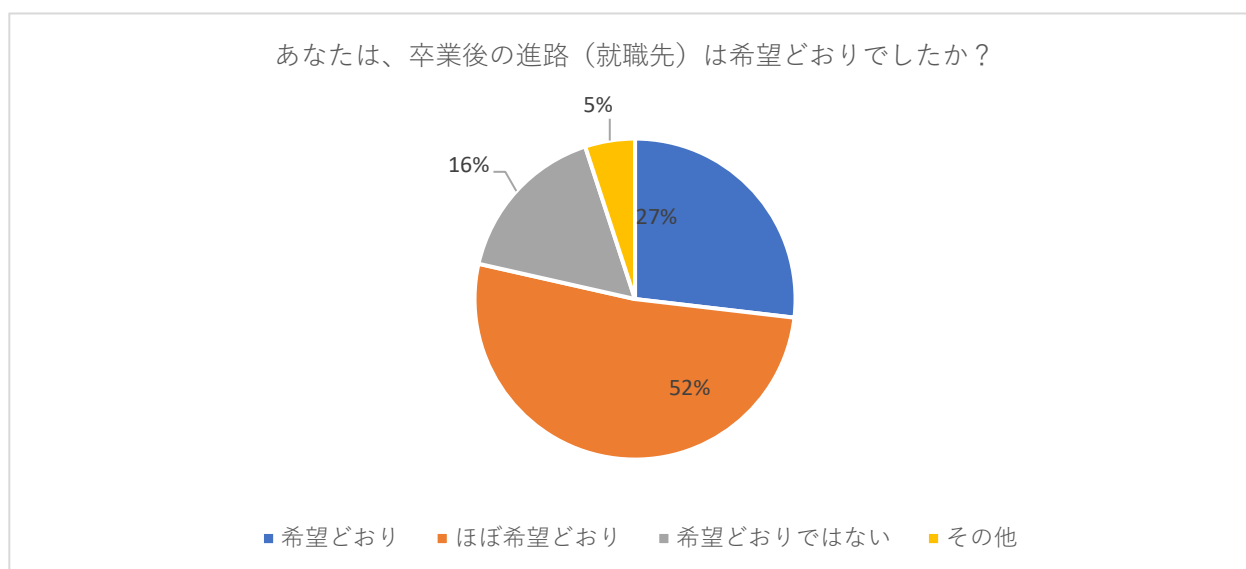
昨年度の実施結果と比べ、JABEEを挙げた学生が増加した。本学では、情報文化学部情報システム学科（改組後、現経営情報学部情報システム学科）の取組としてJABEE認定の情報システム技術プログラムを2008年から導入している。

4年間の学修を通して、在籍学部における以下の卒業時到達目標が達成できましたか？



本調査実施時に、回答用紙と一緒に卒業時到達目標（ディプロマ・ポリシー）が印字された用紙を配布し、達成具合を聞いた。約6割の学生において、卒業時到達目標（ディプロマ・ポリシー）が達成できたという認識を持っていることが分かった。その一方で3割の学生からは「どちらとも言えない」、また「できなかった」という認識の学生も約5%いることが明らかとなった。引き続き全体的な底上げへの努力が多方面において求められているといえるのではないかと。

あなたの、卒業後の進路（就職先）は希望どおりでしたか？



### 卒業後の進路（就職先）は希望どおりでしたか（自由記述）

- ・英語を使ったお仕事に携われるから
- ・最初は空港職を狙っていたがコロナのせいで受付が早期に終了したから職が他にないか探していたが地元によさげなのを見つけたからまあまあ満足した
- ・コロナウイルスにより選択肢が減ったから
- ・希望はしていなかったが、納得のいく進路に進むことができた
- ・進路については特に希望がなかったので、決まっただけよかった
- ・頑張って努力したから
- ・第一希望受かった
- ・学校で学べた知識を活かせるため
- ・第一希望の企業から内定をいただくことができたため
- ・IT企業に入社できたため
- ・就活を始めたころから希望していた「県内のIT企業」に進むことができた
- ・行きたいと思える業界に進めたが、その一方で関東にでるという目的は果たせなかった
- ・大学で学んだ情報系の分野を活かせそうだから
- ・今後、必要とされる業界だと思ったから
- ・第一志望の公務員にはなれなかった
- ・第一志望に受からなかった
- ・会計の知識を学べたことを活かせるから
- ・未だ決まってないから
- ・コロナが流行する前までは旅行業に携わりたいと考えていたが、将来が不安になりIT系へとシフトチェンジし就職したため
- ・SE志望ではあったが、就活をしたなかで営業職に興味を持ち、結果としてIT企業の営業職として内定をいただけたので大学で学んだことがいけせたと思う
- ・まだ未確定なため
- ・外資系にいきたかったが、英語レベル、プログラミングレベル、他に突出した能力がなかったので希望どおりではなかった。しかし内定をもらった企業でしっかり仕事を覚え次のステップにつなげていきたい。
- ・地元に戻って貢献できる仕事につきたかったため
- ・大学入学時は就職先について考えたこともありませんでした。しかし、学生である4年間でやりたいこと、なりたい職業を見つけることができたため。また第一志望の業界から内定をいただいたため。

本調査実施時点（令和2年11月下旬～令和3年1月中旬）の調査結果である。コロナ禍での就職活動となった。調査時点では、希望どおりもしくはやや希望通りの回答が79%であった。様々な行動制限があり不自由な就職活動を余儀なくされた学生の、まさに"現場の生の声"が如実に現れた自由記述の回答となった。その一部を紹介した。

なお、本学ではキャリア支援課を中心に、本アンケート実施以降も引き続き就職活動における学生サポートを実施していることを付け加えたい。